

<目次>

はじめに

伊丹市行財政の現状と課題	1
1 本市を取り巻く環境の変化	1
(1) 国の動向	1
(2) 県の動向	1
(3) 人口構造の変化	2
(4) 急激な経済の変化	3
2 本市の財政状況	3
(1) 歳入の現状	5
(2) 歳出の現状	7
(3) 今後の課題	11
行財政プランの基本方針	12
1 市民とともに考える	12
(1) 市民の権利と義務	13
(2) 分かりやすく丁寧な財政の説明と情報公開	13
(3) 市民の参画と協働	13
2 行政の役割と事業の実施主体	14
(1) 行政の役割	14
(2) 事業の実施主体とコスト負担のあり方	14
(3) 世代間負担の公平性	14
行財政プランの取り組み	16
1 積極的な財源の確保	16
(1) 公平性の確保	16
(2) 使用料・手数料等の適正化	17
(3) 収益事業収入の確保	19
(4) 新たな財源の確保	19
2 事務事業の抜本的な見直し	20
(1) 事務事業の総点検による見直し	20
(2) 政策的・投資的事業などの取り組み方針	20

3	効率的・効果的な行財政運営	20
(1)	民間活力の活用	20
(2)	第三セクター等の抜本的な改革	21
(3)	地方公営企業等の経営健全化	22
(4)	公共施設マネジメントの推進	26
4	人事行政	27
(1)	人材の育成	27
(2)	組織と定員の管理	28
(3)	人件費の適正化	30
5	財政指標の目標設定	31
(1)	財政健全化法の指標	31
(2)	その他の財政指標	35
おわりに		37
行財政プランの体系		38
行財政プラン取り組み項目		39
財政収支見通し《一般財源》		61

はじめに

平成 22 年度において伊丹市行財政改革推進懇話会での 7 回の議論を経て、同懇話会から提出された意見書をもとに、平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 ヶ年を計画期間とする伊丹市行財政プランを策定しました。